

平成29年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	10	学校名	大和中央高等学校（通信制）
----	----	-----	---------------

1. 取組名 筒井順慶まつり模擬店出店

2. 活動内容

(1) 趣旨

本校は創立10周年になる高校であるが、残念なことに、まだまだ地元の認知度は低い。地元の高校生として、9月の第2日曜日に行われる「筒井順慶まつり」に参加し、模擬店を出店することで地域の方々との交流を深める。また接客することにより、生徒のコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成する。

(2) 実施方法

- 生徒会を中心に全校生徒からボランティアを募集し、まつりに出店するお菓子釣りの準備から当日の運営を行なった。お菓子釣りのお菓子の形状を金魚の形にするなど、大和郡山ならではの工夫を凝らした。
- 生徒会とボランティア生徒で缶パッチとゴミの持ち帰りメッセージカードを作り、ポケットティッシュに入れ、当日配付しクリーンアップ運動を行った。

(3) 参加した生徒の感想等

- 準備をすることで、他クラスの生徒や先生、地域の方との関係が深まった。
- 模擬店に参加して自分に自信が付き、コミュニケーション力が高まったように思う。
- 今後、様々なボランティア活動（清掃活動、伝統行事）に参加してみたい。
- 様々な経験を積み自分を高め、その過程で人と助け合いながら楽しめることができれば良いと思いを始めた。

3. 成果と課題

- 模擬店を出店して3年が経った。金魚の形のお菓子釣りも好評で、150匹完売するほどである。地域の小学生や幼稚園の子どもが何匹も持って帰る姿に、生徒たちはやりがいを見出すことができている。
- 地域のみなさんも本校生徒に好意的で、積極的に声かけをしていただき、生徒もつながりやぬくもりを体感できた。
- 年々、当日参加を希望するボランティア生徒が増えるため、生徒一人ひとりに適切な作業の割り振りが難しくなっている。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

- 模擬店でお菓子釣りは筒井順慶まつりには欠かせないものになってきている。しかし、次年度はなにか新しい地元の特徴を生かした模擬店を生徒と一緒に検討していきたいと考えている。

